

会 議 録

会議名	平成29年度 第11回 小金井市学童保育所運営協議会	
事務局 (担当課)	児童青少年課	
開催日時	平成30年3月19日(月) 19時10分～20時55分	
開催場所	市役所第二庁舎 801 会議室	
出席者	委員	伏見委員長、百瀬副委員長、大澤委員、鈴木委員、中山委員、外山委員、安達委員、大村委員、藤森委員、小岩井委員、井出委員、野口委員、田上委員
	事務局	山田学童保育係長
	他	議事録：武田(ほんちょう学童父母会)
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 学童保育の保育内容について (2) その他 3 閉会	
配布資料	平成29年度学童保育所の出席率について	
議事	1 開会 2 議題 ① あかね学童保育所の施設整備について (学) 現在、東小金井駅周辺の開発が行われており、これから児童数も増えていくと予想される。あかね第4・第5学童保育所を建設予定であるが、80人規模の施設で十分なのか。 (市) 利用者数の算出はいくつかの方法でシミュレーションしている。1つは、東京都教育庁が出している教育人口等推計に基づく小学校1年生から3年生の予測児童数に、過去の第三小学校児童のあかね学童利用率(最大で40%弱)を掛けることで予測している。 また、1歳～2歳までの保育園利用者数の推移を基に算出したパターンもある。これらの予測によると最大で250人程度となるが、学校のキャパシティーにも限界があるため、あかね第4・第5学童保育所に関しては80人規模の施設で問題ないと考えている。 (学) 学童の利用率とはなにか。出席率とは違うのか。 (市) 小学校1、2、3年生のうち、学童保育所に登録している割合である。 (学) あかね第4、第5学童保育所の施設設計について、父母会から要望を出すことは可能か。	

(市) 平成32年4月の竣工に向けて日程がタイトであるため、すでに要望があるのであれば、5月、6月くらいに頂きたい。コストなども含め、出来るだけスタンダードな建築を考えていることはご理解いただきたい。

(学) 承知した。

(学) 第三小学校の収容力も限界に近づいているが、学区の見直しはあるのか。あるとすれば、切り替えのタイミングは新一年生からとなるのか。

(市) 教育長が議会で答弁されたようだが、おそらく様々な意見を受けて今後教育委員会で議論されることになる。詳細は分かり次第お知らせする。

(学) 第三小学校の学区を見直すというが、隣のみどり小学校とみどり学童もキャパシティーいっぱいである。

(市) 学区は小金井市全体として、見直されると思う。

#### ② あかね・みどり学童保育所の委託料について

(学) あかね・みどり学童保育所の委託料予算が平成29年度予算と同水準であるが、児童数増加分の加算はされているのか。

(市) 平成29年度は予算編成時に児童数が確定していなかったために、児童数を多めに見込んで予算計上し、児童数が確定した段階で委託料を確定した。平成30年度は1ヶ月早く児童数を把握できたため、児童数に即した予算計上ができている。結果、平成29年度、平成30年度共に、実際の委託契約額は、児童数に応じた適切な額となっている。

#### ③ みどり学童保育所（緑児童館）の改修工事について

(学) みどり学童保育所の改修計画について、具体的な内容をお聞きしたい。

(市) まだ予算が通っていないので、決まり次第、お伝えする。

#### ④ まえはら学童保育所の施設面積について

(学) まえはら学童保育所の児童一人あたりの育成室面積は狭くなっている。平成29年度は2年生が極端に少ないので大丈夫だったが、このままでは急激に逼迫するのではないかと心配している。2階の出窓スペースなども含めて建ぺい率に余裕はないのか。

(市) すでに建ぺい率をかなり使用している建物である。今後、対策を検討していく。

#### ⑤ さわらび及びみなみ学童保育所の委託について

(学) 次年度の、委託に関する市の窓口（担当者）を確認したい。  
(市) 人事については未定なので、改めて課に問い合わせて頂きたい。  
(学) 委託後の事業者との引き継ぎ、打ち合わせについて確認したい。  
(市) 委託事業者を含めて毎月市内全学童の打ち合わせを実施している。  
(学) 市、委託事業者、父母会の連携は重要だが、三者懇談会などは運営業務に含まれているのか。  
(市) 含まれている。実施方法は学童毎に最適な方法を決めて頂ければよいが、市の指導員の派遣（勤務）の関係もあるので、協議会で、回数・時間帯などを確認させていただきたい。  
(学) 万が一、業者との直接のやり取りが難しい場合や、問題あった場合は市に間に入っていただきたい。  
(市) 平成28年度に実施した、委託検証報告書に沿った対応を行うことを前提としており、協力していく。

⑥ 平成29年度学童保育所の出席率について

(市) 学童開所日における月ごと施設ごとの登録児童数に対する出席率である。平均70%程度だが、8月や1月が他月と比較して出席率が低いのは、長期休暇があるためである。  
(学) 頂いた資料の出席率は「一つの支援の単位を構成する児童の数」のデータではないのか。  
(市) 「一つの支援の単位を構成する児童の数」は、小金井市は毎年5月1日を基準日とし、登録人員に対して施設ごとの若干の差はあれど、概ね8割5分掛けした数値を用いている。本資料は、出席率実績のデータであり、「一つの支援の単位を構成する児童の数」のデータではない。  
(学) 5月1日の児童数で、都型学童クラブ補助金の補助基準の1つである「70人」を超えた場合に補助金はあるのかないのか。  
(市) 8割5分掛けして「70人を超えた」場合は、補助の対象にはならない。  
(学) 出席率が70～80%と、低いように感じるが実際はどうなのか。  
(市) 土曜日も含めて算出しているので、低くなっている。平日の出席率は高く、特にイベントのある水曜日は満杯である。  
(学) やはり大規模化が喫緊の課題であることを再認識した。土曜日も出席率に反映すると、そもそも土曜は児童少ないため、正確ではないのではないか。  
(市) 多摩26市で統一的な統計のためカウントしている。あくまで参考として見ていただきたい。

⑦ あかね学童保育所の登下校メールシステムについて

(学) 現在、機器はひとつだけで、設置している玄関が混雑する場合があります。機器増やしたい場合はどうすればいいか。

(市) 追加した際は、場所の提供に関する書類（行政財産使用申請）を出して頂ければ良い。市は設置の場所を許可するのみとなることから、機器増設に関する業者間の調整・負担は父母会にお願いすることになる。

(学) 2台目からの費用については、事業者と確認する。

(市) 追加での申請となれば、早めに申請をお願いしたい。また、許可申請は毎年申請が必要となるため、ご理解いただきたい。

⑧ ドッジボール大会について

(市) 現在、市主催で実施しているドッジボール大会だが、いくつか問題を抱えている。小金井市体育館の収容力、インフルエンザが流行する时期的な問題、移動時の引率や交通機関、午前午後の2部制による9学童交流の趣旨との齟齬など。学校公開の時期とも重なる。これまでも工夫しながら実施してきたが、今後に関しては検討していきたい。平成30年度は予定どおり実施する。

(学) 了承した。

次回予定

(市) 次回は4月26日（木）をお願いしたい。